

記者会見 (3月11日)  
(沖縄県で確認された変異株について)

(発表事項に先立ちまして、一言申し上げます。  
東日本大震災で亡くなられた方々に、謹んで哀悼の意を捧げます。私も今日、午後2時46分に黙祷いたしました。  
ご遺族の皆さまや、被害を受けた皆さまに心からお見舞いを申し上げます。  
そして、被災地の一日も早い復興を心から願っております。  
沖縄県としても、引き続き被災地支援にしっかりと努めてまいりたいと思います。)

本日は、沖縄県内において新型コロナウイルス変異株が初めて確認されましたのでご報告致します。

現在県では、国立感染症研究所の協力を得て、県内で確認された新型コロナウイルス陽性者について、変異株の検査を実施しているところです。

3月4日に県衛生環境研究所にて実施したN501Y変異株のスクリーニング検査において、2例の陽性が検出され、翌日、確認のため、国立感染症研究所へ送付し、詳細な検査を依頼したところ、本日、そのうち1例は英国型変異株であることが確認されました。

N501Y変異株は、世界的にも感染が拡大し感染性や伝播性の増加等が懸念されるなど、WHOが「懸念される変異株」として警戒を強めている変異株です。発生した背景から、英国型、南アフリカ型及びブラジル型の3種類に分類され、国内では3月9日までに21都府県で345例が報告されております。

今回、県内で英国型変異株が確認されたのは、県内に在住する1名で、保健所の調査では、県外への渡航歴はありませんが、1月末に県外から帰省された方の濃厚接触者であることから、県外から持ち込まれたことが判明しております。

この2例は、保健所の健康観察中の検査でコロナ陽性が確認されており、感染可能期間中は行動を自粛しており、不特定多数の方との接触歴は無く、これ以上の感染拡大は確認されておられません。

また、これとは別の事例となりますが、県では定期的に国立感染症研究所へ検体を送付し、遺伝子解析を実施しています。今回、2月17日に送付した99例のうち6例からE484K変異株が確認されたことも判明しました。

この6例はいずれも海外・県外の渡航歴は確認されておしま

せん。

E484K変異株は、国立感染症研究所が発表した新規変異株で、国内では3月3日までに空港検疫で2件、関東を中心に国内では394例が検出されています。国立感染症研究所によりますと、海外から移入したと考えられますが、起源が不明であり、まだ名称もなく警戒すべき3つの株とは異なり「今後注目すべき変異株」としての扱いとされております。

県では3月10日までに県内で新型コロナウイルスが陽性となった8,354例のうち、およそ12%にあたる984例について変異株の検査を行っているところです。

N501Y変異株の2例及びE484K変異株の6例ともに、現在は収束している状況にありますが、今後も引き続き変異株の検査を強化し、変異株感染者が確認された場合は、県民等への注意喚起や積極的疫学調査を強化し感染拡大を食い止めていきたいと考えております。

今回、県内で初めて変異株が確認されたことを受け、県民の皆様にはより一層、感染予防に注意をしていただきたいと思います。

感染パターンは、「接触感染」「飛沫感染」「マイクロ飛沫感染」の3つです。「接触感染」による感染を防ぐためには、手洗いと、手指の消毒をこまめに行うこと。「飛沫感染」は、マスクの着用や、人と人との空間的距離を取ること、さらに「マイクロ飛沫感染」は、換気をこまめに行うことなどといった、「新しい生活様式」をしっかりと実践していただくことです。

それに加え、昨日は、送別会での集団感染が確認されております。この時期の送別会、謝恩会は控えていただき、会食の際には、4人以下・2時間以内、そしていつも一緒にいる方と会食をするということを徹底していただきたいと思います。

県民一丸となった努力により、せっかく減少させた感染者数を再発に繋げないためにも今一度日頃の対策を確認していただき、徹底してその対策を実行していただくことに尽きると思います。

引き続き、皆様のご協力を、心からお願い申し上げ、今日の発表とさせていただきます。  
一緒に頑張っていきましょう。よろしく申し上げます。